

1. 委員会を開いた年月日及び場所

平成29年3月8日 午前10時00分開会
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	土川重佳
副委員長	末永一郎
委員	宮崎良保
委員	横山弘藏
委員	横浦英明
委員	松屋治郎
委員	今田光弘

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議長 立石隆教

5. 説明のため出席した者

町長	西浩三
副町長	谷良一
教育長	吉元勝信
会計管理者	尾崎孝三
総務課長	中川一也
住民課長	西村久之彦
福祉事務所長	植村敏彦
産業振興課政策監	木下誠子
産業振興課長	中村慶幸
農業委員会事務局長	〃
建設課長	蛭子晴市
教育次長	前田達也
診療所事務長	近藤進

6. 職務のため出席した者

議会事務局長	尾野英昭
議会事務局書記	岩坪百合

7. 付託を受けた事件の件名

議案第39号 平成29年度小値賀町一般会計予算

開会時刻 10 : 00

音声 1/3

委員長（土川重佳） 皆さんおはようございます。

ただいまから予算特別委員会を開会する。

本委員会に付託された案件は、議案第 39 号、平成 29 年度小値賀町一般会計予算、議案第 40 号、平成 29 年度小値賀町国民健康保険事業特別会計予算、議案第 41 号、平成 29 年度小値賀町介護保険事業特別会計予算、議案第 42 号、平成 29 年度小値賀町後期高齢者医療事業特別会計予算、議案第 43 号、平成 29 年度小値賀町渡船事業特別会計予算、議案第 44 号、平成 29 年度小値賀町簡易水道事業特別会計予算、議案第 45 号、平成 29 年度小値賀町下水道事業特別会計予算、議案第 46 号、平成 29 年度小値賀町国民健康保険診療所特別会計予算。以上、8 件だ。

本特別委員会の審査日数は、本日と明日及び明後日の 3 日間。

審査の順序として、本日は一般会計予算の歳入及び歳出の一部を予定している。

審議に入る前に、皆さんにお願いする。

発言については、手を挙げて委員長の指名の後、起立して行ってほしい。

質疑に対して説明していただくため出席している説明員は、原則、町長以下、各課の課長職までだ。それ以外の者の説明を要する場合は、説明員が説明させる者の指名及び必要な理由を述べた上で、委員長の許可を得て発言させるように。また、その折の説明させる者の服装には十分注意されるようご配慮を願う。

歳入歳出について、款ごとに行う。明日の歳出については質疑が始まる前に連絡を入れるので、その時に入室してほしい。質疑が終わったら退出していただいても結構。なお、明日の歳出全般にわたる質疑の時には、各課に連絡を入れるので、担当所管課長の入室をお願いする。

それでは、**議案第 39 号、平成 29 年度小値賀町一般会計予算を議題とする。**

本案について提案理由の補足説明をお願いする。 総務課長

総務課長（中川一也） 歳入歳出事項別明細書により説明する。

11 ページから。

1 款・町税、1 項・町民税、1 目・個人、5,758 万 5,000 円計上。同じく 2 目・法人 437 万 1,000 円を計上し、町民税の総額を昨年比 6%増の 6,195 万 6,000 円とする。同じく 2 項 1 目・固定資産税 6,910 万円計上。2 目・国有資産等所在市町村交付金及び納付金を 232 万 4,000 円計上し、固定資産税の総額を 7,142 万 4,000 円とする。同じく 3 項・軽自動車税を 1,001 万円計上。4 項・町たばこ税 1,856 万 2,000 円計上。

2 款・地方譲与税、1 項・地方揮発油譲与税を 660 万円計上。同じく 2 項・自動車重量譲与税を 1,500 万円。4 項・航空機燃料譲与税は存目設置。

3 款 1 項・利子割交付金を 15 万円。

4 款 1 項・配当割交付金を 50 万円。

5 款 1 項・株式等譲渡所得割交付金を 40 万円計上。

6 款 1 項・地方消費税交付金を 4,000 万円。

7 款 1 項・自動車取得税交付金を 250 万円。

8 款 1 項・地方特例交付金を 10 万円、それぞれ計上。

9 款 1 項・地方交付税は、普通交付税を 16 億 1,000 万円、特別交付税を 4,600 万円、合わせて 16 億 5,600 万円計上している。

10 款 1 項・交通安全対策特別交付金は存目計上。

11 款・分担金及び負担金、1 項・分担金、1 目・農林水産業費分担金は存目設置。2 項・負担金、1 目・民生費負担金 1,405 万 3,000 円の計上は、保育料負担金 1,215 万 4,000 円が主なもの。2 目・教育費負担金を 5 万 8,000 円計上し、負担金の総額を 1,411 万 1,000 円とする。

12 款・使用料及び手数料、1 項・使用料、1 目・総務使用料 136 万 8,000 円計上。3 目・衛生使用料を 107 万円計上。同じく 4 目・農林水産業使用料は、漁港施設使用料 866 万 7,000 円計上。6 目・土木使用料は町営住宅家賃が主なもので、2,290 万 8,000 円計上。7 目・教育使用料を 101 万 5,000 円計上し、使用料の総額を 3,502 万 8,000 円とする。同じく 2 項・手数料、1 目・総務手数料 217 万 7,000 円。2 目・衛生手数料 577 万 6,000 円計上。3 目・農林水産業手数料を 420 万 2,000 円、4 目・土木手数料を 1,000 円計上し、手数料の総額を 1,215 万 6,000 円とする。

13 款・国庫支出金、1 項・国庫負担金、1 目・民生費国庫負担金、1 節・社会福祉費負担金は、障害者自立支援給付費負担金が主なもので、6,213 万 8,000 円、2 節・児童福祉費負担金は児童扶養手当にかかる 330 万円の計上。3 節・児童手当負担金 1,541 万円の計上。8 節・生活保護費負担金 3,862 万 5,000 円の計上。2 目・衛生費国庫負担金を 50 万円計上。1 項・国庫負担金の総額を 1 億 1,952 万 3,000 円とする。2 項・国庫補助金、1 目・民生費国庫補助金は、母子家庭の母親の資格取得にかかる期間中の生活支援等に資する母子家庭等対策総合支援事業費補助金ほか 426 万 4,000 円計上。2 目・衛生費国庫補助金 18 万円計上。4 目・土木費国庫補助金は、野崎町道の防災事業が主なもので 5,539 万円計上。6 目・教育費国庫補助金は、野崎島文化財の防火対策のための国宝重要文化財等保存整備費補助金が主なもので、1,408 万 6,000 円計上。7 目・総務費国庫補助金は、地域社会維持推進交付金、離島活性化交付金ほか 3,675 万 1,000 円を計上し、国庫補助金の総額を 1 億 1,067 万 1,000 円とする。3 項・委託金、1 目・総務費委託金 231 万 3,000 円計上。2 目・民生費委託金 72 万 8,000 円を計上し、委託金の総額を 304 万 1,000 円とする。

14 款・県支出金、1 項・県負担金、1 目・総務費県負担金 583 万 9,000 円計上。2 目・民生費県負担金 5,735 万 6,000 円。3 目・衛生費県負担金 60 万 7,000 円計上し、県負担金の総額を 6,380 万 2,000 円としている。同じく 2 項・県補助金、1 目・総務費県補助金は、地域おこし協力隊にかかる県補助金ほか 1,165 万 8,000 円計上。2 目・民生費県補助金 807 万 9,000 円。3 目・衛生費県補助金は 208 万 5,000 円。4 目・農林水産業費県補助金は、多面的機能支払推進交付金、松くい虫防除損失補償金、離島漁業再生支援交付金等、各節の

とおり 8,471 万 3,000 円計上。5 目・商工費県補助金を 91 万 4,000 円。6 目・土木費県補助金 40 万 7,000 円計上。8 目・教育費県補助金は、指定文化財保存整備事業費補助金ほか 621 万 9,000 円計上し、県補助金の総額を 1 億 1,407 万 5,000 円としている。同じく 3 項・委託金は、1 目・総務費委託金 1,083 万 7,000 円計上。2 目・民生費委託金は、昨年まで 3 目・衛生費委託金で計上していた被爆者事務委託金を 3 万 4,000 円計上。4 目・農林水産業費委託金 124 万 7,000 円計上。6 目・土木費委託金を 357 万 1,000 円計上。3 項・委託金の総額を 1,568 万 9,000 円としている。

15 款・財産収入、1 項・財産運用収入、1 目・財産貸付収入 879 万 3,000 円計上。2 目・利子及び配当金を 232 万 8,000 円計上。3 目・基金運用収入 157 万 6,000 円計上し、財産運用収入の総額を 1,269 万 7,000 円としている。同じく 2 項・財産売払収入、1 目・不動産売払収入から 3 目・有価証券売払収入までは存目計上。4 目・出資金等返還金は担い手公社の各種事業への出資金の償還金で、475 万 8,000 円を計上。2 項・財産売払収入の合計を 476 万 2,000 円とする。

16 款 1 項・寄付金はいずれも存目計上。

17 款・繰入金、1 項・基金繰入金、2 目・振興基金繰入金は、ふるさと寄付金分を農業後継者の奨学金に充当するため、60 万円の計上。3 目・まちづくり担い手育成基金繰入金 445 万 7,000 円計上。9 目・中山間ふるさと活性化基金繰入金 1 万 4,000 円を計上。17 目・小値賀町しま共通地域通貨換金準備基金繰入金 385 万 2,000 円計上。総額を 892 万 3,000 円としている。同じく 2 項・特別会計繰入金は、いずれも存目計上。

18 款 1 項・繰越金を 5,000 万円計上。

19 款・諸収入、1 項・延滞金加算金及び過料、2 項・町預金利子はいずれも存目計上。3 項・貸付金元利収入は、商工業者等への資金融資にかかる預託金元利収入 3,001 万 5,000 円の計上。4 項 5 目・雑入 2,338 万 7,000 円の計上は、農業共済組合獣医師嘱託金、宝くじ市町配分金が主なもの。同じく 5 項・受託事業収入は存目計上。

20 款 1 項・町債、1 目・総務債 6,700 万円計上。2 目・民生債 1,300 万円計上。4 目・農林水産業債 2,570 万円計上。5 目・商工債 380 万円計上。7 目・消防債を 1,950 万円計上。8 目・教育債 1,590 万円計上し、町債の総額を 1 億 4,490 万円としている。

27 ページから歳出について。

1 款 1 項・議会費は、昨年度並みの 5,231 万 1,000 円の計上だが、議会だより 100 号記念関係印刷製本費と防災服等の購入を予定している。

2 款・総務費、1 項・総務管理費、1 目・一般管理費 1 億 9,100 万 5,000 円の計上は、会長報酬、二役及び職員 9 名分の人件費、庁舎経費、総合行政システム等 ASP サービス利用料等が主なもの。2 目・文書広報費は、おちか新聞、例規管理システムほか 680 万 4,000 円計上。3 目・財政管理費 1,423 万 4,000 円計上。4 目・会計管理費 21 万 5,000 円。5 目・財産管理費 1,327 万 4,000 円の計上。6 目・企画費は、地域おこし協力隊事業、地域おこし企業人事業、定住促進用住宅改修工事、国境離島航路運賃軽減事業負担金、小値賀交通運

行費補助金等が主なもので、6,930万6,000円計上。7目・交通安全対策費は、高齢者の運転免許更新を島内でできるようにするための負担金58万1,000円ほか189万2,000円計上。8目・空港費810万7,000円。11目・ふるさと創生事業費を446万3,000円計上し、総務管理費の総額を3億930万円としている。同じく2項・徴税費、1目・税務総務費1,871万1,000円を計上。2目・賦課徴収費を136万9,000円計上し、徴税費の総額を2,008万円としております。同じく3項1目・戸籍住民基本台帳費1,951万円計上。2目・住民基本台帳ネットワーク費410万3,000円計上。戸籍住民基本台帳費の総額を2,361万3,000円としている。同じく4項・選挙費、1目・選挙管理委員会費36万5,000円計上。2目・選挙啓発費4万9,000円。5目・県知事選挙費400万円計上。4目は廃目で、選挙費の総額を441万4,000円としている。同じく5項・統計調査費、1目・統計調査総務費21万6,000円計上。同じく6項・監査委員費を112万円計上している。

3款・民生費、1項・社会福祉費、1目・社会福祉総務費1億8,869万4,000円の計上は、19節で後期高齢者医療給付費負担金、28節で特別会計繰出金が主なもの。2目・国民年金事務費は、システム改修委託料ほか77万8,000円計上。3目・老人福祉費は、たんぼぼ荘運営委託料ほか3,671万4,000円計上。4目・障がい者福祉費1億3,211万1,000円の計上は、自立支援関係扶助費が主なもの。9目・臨時福祉給付金は廃目で、1項・社会福祉費の総額を3億5,829万7,000円とする。同じく2項・児童福祉費、1目・児童福祉総務費は、放課後児童クラブ事業、出生祝金、子育て世帯保育料軽減補助金、児童手当等4,497万1,000円計上。2目・母子福祉費は、母子家庭の高等職業訓練促進給付金、児童扶養手当が主なもので、1,445万7,000円計上。4目・こども園費に7,587万1,000円を計上し、児童福祉費の総額を1億3,529万9,000円とする。3項・生活保護費は、1目・生活保護総務費に1,633万8,000円、2目・扶助費に5,150万円計上し、生活保護費を6,783万8,000円とする。4項・災害救助費は存目計上。

4款・衛生費、1項・保健衛生費、1目・保健衛生総務費。昨年度比1,977万9,000円増の1億1,682万8,000円の計上は、28節・診療所特別会計繰出金が主なもの。2目・予防費は、13節・診療所への予防接種業務委託料が主なもので575万4,000円計上。3目・環境衛生費は935万5,000円計上。4目・健康増進費を832万5,000万円計上。1項・保健衛生費の総額を1億4,026万2,000円とする。同じく2項・清掃費、1目・塵芥処理費は、13節・委託料が主なもので、5,750万4,000円計上。2目・し尿処理費に4,228万8,000円を計上し、清掃費の総額を9,979万2,000円とする。

5款・農林水産業費、1項・農業費、1目・農業委員会費866万8,000円計上。2目・農業総務費4,770万7,000円。3目・農業振興費1億1,369万2,000円の計上は、中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金、青年就農給付金、地域おこし協力隊活動事業、担い手公社各種事業補助金、イノシシ被害防止対策事業等が主なもの。4目・畜産業費は、肉用牛産地育成強化緊急対策事業補助金ほか2,754万4,000円計上。5目・農地費2,224万6,000円計上。1項・農業費の総額を2億1,985万7,000円とする。同じく2項・林業費、

1 目・林業振興費は、枯れ松処理が急がれる中で松林の調査を行うとともに、ふるさとの森づくり事業等を活用して処理を進めるため、昨年度比 821 万 8,000 円増の 2,922 万 3,000 円計上。同じく 3 項・水産業費、1 目・水産業総務費 2,143 万 2,000 円。2 目・水産業振興費 7,448 万 8,000 円の計上は、漁業研修生、離島流通効率化・コスト改善、離島漁業再生支援交付金ほか、観光ダイビング関係調査事業等も計画しております。同じく 3 目・水産施設費 2,113 万 3,000 円の計上。4 目・漁港管理費 1,978 万 8,000 円計上。5 目・漁港建設費 3,803 万円を計上は、13 節・小値賀島地区漁港機能保全調査業務委託が主なもので、3 項・水産業費の総額を 1 億 7,487 万 1,000 円とする。

6 款・1 項・商工費、1 目・商工総務費 133 万 3,000 円計上。2 目・商工業振興費は、19 節で商工会運営費補助金ほか 3,823 万 1,000 円計上。同じく 3 目・観光費 4,405 万 5,000 円の計上は、野崎島ビジターセンター運営関連経費、しま共通地域通貨事業、佐世保・小値賀観光圏整備事業負担金、五島列島おもてなし協議会負担金が主なもので、1 項・商工費の総額を 8,361 万 9,000 円とする。

7 款・土木費、1 項・土木管理費、1 目・土木総務費 1 億 4,021 万円計上。2 目・景観形成費に 60 万円計上し、土木管理費の総額を 1 億 4,081 万円とする。2 項・道路橋梁費は、2 目・道路維持費 2,620 万円、3 目・道路新設改良費は、小値賀町道路橋定期点検業務委託、町道野崎本線整備工事が主なもので、6,235 万 5,000 円を計上し、道路橋梁費の総額を 8,855 万 5,000 円とする。3 項・住宅費は 504 万 5,000 円の計上。

8 款 1 項・消防費、1 目・非常備消防費は、広域消防事務委託負担金ほか 6,386 万 3,000 円を計上。2 目・消防施設費は第 5 分団の消防ポンプ自動車の更新が主なもので、2,971 万 5,000 円計上。3 目・災害対策費に 59 万 6,000 円計上。消防費の総額を 9,417 万 4,000 円とする。

9 款・教育費、1 項・教育総務費、1 目・教育委員会費 125 万 1,000 円計上。2 目・事務局費 3,438 万 1,000 円計上。教育総務費の総額を 3,563 万 2,000 円とする。同じく 2 項・小値賀小学校費、1 目・学校管理費 1,218 万 7,000 円。2 目・教育振興費は、ICT 教育環境整備等関連で 619 万 8,000 円計上。小値賀小学校費の総額を 1,838 万 5,000 円とする。同じく 4 項・小値賀中学校費、1 目・学校管理費は、740 万 4,000 円。2 目・教育振興費は、小学校同様、ICT 教育環境整備等関連で 1,355 万 9,000 円計上し、小値賀中学校費の総額を 2,096 万 3,000 円とする。7 項・社会教育費、1 目・社会教育総務費 2,416 万 6,000 円。2 目・公民館費 867 万 5,000 円計上。3 目・総合センター費は、総合センター舞台幕の更新等 1,196 万 2,000 円。4 目・歴史民族資料館費 939 万 8,000 円計上。5 目・文化財保護調査費 749 万 8,000 円。6 目・図書館費 1,260 万 9,000 円計上。7 目・世界文化遺産登録推進事業費は、野崎島防火施設及び給水施設工事費 2,633 万円が主なもので、3,683 万 6,000 円計上し、社会教育費の総額を 1 億 1,114 万 4,000 円とする。同じく 8 項・保健体育費、1 目・保健体育総務費は 2,093 万 4,000 円計上。2 目・学校給食費を 1,467 万円計上し、保健体育費の総額を 3,560 万 4,000 円とする。

10 款・災害復旧費、1 項・農林水産施設災害復旧費、2 項・公共土木施設災害復旧費は、いずれも存目計上。

11 款 1 項・公債費、1 目・元金 3 億 2,355 万 4,000 円計上。2 目・利子 2,581 万円を計上し、公債費の総額を 3 億 4,936 万 4,000 円とする。

12 款・諸支出金、2 項・特別会計繰出金、1 目・渡船事業特別会計繰出金を 1,670 万円計上。

13 款・予備費を 950 万円計上。

以上、平成 29 年度小値賀町一般会計予算の概要を説明した。 25:36

委員長（土川重佳） これから質疑を行う。

平成 29 年度小値賀町一般会計予算について、歳入から順に款を追って質疑願う。

第 1 款・町 税 宮崎委員

委員（宮崎良保） 12 ページのたばこ税だが、71 万 2,000 円アップしている。今のように禁煙が叫ばれている中、このようなアップというのはどういう算定をしたのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 単価が上がったのが旧 3 級品のたばこが 2 円 49 銭 5 厘から 2 円 92 銭 5 厘に 43 銭上がっている。それと本数が約 30 万本増えているのが主な要因。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 2 款・地方譲与税

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 3 款・利子割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 4 款・配当割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 5 款・株式等譲渡所得割交付金 宮崎委員

委員（宮崎良保） 昨年からすると大幅に 36 万かアップしている理由は。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） あまり詳しくないが、平成 28 年度の見込みが、補正予算のときに出てくると思うが、株式等譲渡所得割交付金がかなり上がっているの、株というのは非常に乱高下激しいのでなんとも言えないが、一応 28 年度の実績を踏まえて 29 年度の予算を組んだところだ。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 6 款・地方消費税交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 7 款・自動車取得税交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 8 款・地方特例交付金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第9款・地方交付税

宮崎委員

委員(宮崎良保) 16億余り来ているが、この中で基準財政需要額の中で小値賀町が純粋に必要とする経費で来る金額が分かるか。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 29年度の予算を見込むとき、調査ものはあるが、それで積みあげて作業するというのは実際は今はやっていない。それをやっても交付税法が変わったりして中身が変わることもあるし、むしろ国の政策で後づけで入ってくる包括経費等が結構大きいので、そういう作業をやっても手間がかかる割にはあまり重要ではないので、まして普通交付税についてはさほど、通常かかる経費は毎年ほぼ動かないので、若干単価が下がったり、単位費用の形質が変わっても、それほど基準財政需要額、収入額などに大きな変動はないので、そういう作業は実際予算編成にやる余力もないし、効率的にはあまり、財政としては予算を組むときに計算はしていない。今回、ぜひ聞いていただきたいかったのは、普通交付税が多くて特別交付税が少ないのはなぜかというところだったのだが、それについては答えがあり、29年度から町村の福祉事務所についても普通交付税で算定するという大きな制度改正があっている。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第10款・交通安全対策特別交付金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第11款・分担金及び負担金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第12款・使用料及び手数料

横山委員

委員(横山弘藏) 4目・農林水産業使用料のところ、漁港施設使用料。これの内訳を知らせてほしい。

(町長退室)

委員長(土川重佳) 建設課長

建設課長(蛭子晴市) これは県営漁港の使用料で、小値賀漁港を864万円、斑漁港の使用料を2万7,000円と見込んでいる。

委員長(土川重佳) 横山委員

委員(横山弘藏) 小値賀の条例でこの前見たが、野崎港にも使用料が取れるような条例になっているが、各港で漁港使用料をもらうような、例えばどこの船が入ってきて、どのくらい係留して、どのくらいの船が入ってきて、また船の大きさによって使用料も違うようだが、そういったところの徴収のあり方というのはどうなっているのか。

委員長(土川重佳) 建設課長

建設課長(蛭子晴市) 今の質問は町営の漁港のこと全般というふうには受け取る。条例で謳われているが、使用料等、現状は徴収をしていない。理由としては、条例で謳われてい

るが、単価が極端に低いため、その手間が大変かかるということで今までは徴収していない。しかし平成 29 年度からは、条例上あるということで何もしないわけにもいかないので、どういう形ですか検討したいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 野崎が今度重要文化的景観に、それから野崎全島が世界遺産に指定されるかもしれないが、そういった中で今まで以上に野崎島にも入港する船が増えてくると思う。せっかく条例があるのに全く機能していないとなると、やはり条例の見直しも含めてきちんとそういうのが機能するように考えていくのが仕事じゃないかと思うが、その辺についてどう思うか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 先ほど言ったとおり 29 年度で検討したいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 検討するのはいいが、どのような方向で考えているか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 単価があまりにも安いので、今のままで徴収すべきなのか、または今議員が言ったように見直す必要があるのか、それも含めて検討したいと思う。条例を見たかと思うが、単価が、一般漁師の船の場合、トン当たり 0.8 円程度だったと思う。またレジャーの船の場合はメートル辺り 10 円だ。だから、仮に 10m のレジャー船が入ってきたとして、それから徴収するのが 100 円という数字になるので、そういう作業のほうが手間がかかるということで、今までもあるということが分かっているながら、徴収していなかったのではないかと推測している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 私も目にしたときに「えらい安いな」と思って、これは手間賃がかかるだけで損だと思ったが、一応条例でできているということになれば、それなりの条例の意味がないのかなと思ったりしたが、この漁港使用料は、例えばほかの自治体がどういう料金の設定をしているのか。小値賀町と変わらない状況で推移しているのか、それとも各自治体も見直しの時期が来ているのか、そういったよそとの比較は分かるか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 今のところ調査していないので分からない。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今の条例では大したあれではないと思っている。しかし今後のことを考えると、少し見直しをしたり他の自治体と比較したり、県とも相談したりして、少し実効性のある条例に見直すか、それとも今ある条例を改正してそういった料金を取らないことにするのか、もうちょっと具体的にこの条例が働くような、意味のある条例にするのいいのではないかと思うが、課長の話では今後検討するということなので、そういうことも含まれていると思う。今後、この問題は勉強したり研究したりして、条例の内容を改定

するなりといったことが必要だと思う。そしてもし使用料をもう少し高く上げて、ちゃんとした収入源になるようであれば努力してほしいと思う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 今、議員が言った方向でこの条例を検討したいと思う。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 関連質問になるかと思うが、我々が佐世保とか長崎に魚を持っていけば、使用料といって仕切りから天引きされる。だから今は、厄介な密漁船、小型巾着船が入りよる。あの連中も聞くところによると、「使用料は取られんとか」と言ったら、今課長が言ったように、「ほんの何円かだから取ったってあんまり効果ないから」ということを聞いたが、やはりこういう仲間も小値賀に来させないように、トイレを汚したりするばかりだから、そういうところは使用料を1,000円でも取るよう見直しができないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 額のところは今のところ分からないが、検討したい。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 衛生使用料の葬祭場使用料が若干増えていると思うが、これはおそらく葬祭場で通夜などをする人がだんだん増えてきていることと思うが、今後の葬祭場の利用、利用しやすいような考えはあるか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 言うとおりに、増えたのは通夜の方だ。利用しやすい方法というと、こちらは一応利用しやすいようにしているつもりだ。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 最近、この葬祭場の問題についてよく聞かれる。もう身内もおらん、子どもは都会にいる、だから葬式も出しきらんと。何とかその辺の充実を図ってもらえんかというふうなことがあるので、そういう考えはないか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 町としては場所の提供の程度と考えているので、今言ったことがどこまでの話をしているのかちょっと分からないので、それ以上は答えにくい。

委員長（土川重佳） いいか。松屋さん。

ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・国庫支出金 横山委員

委員（横山弘藏） 7目・総務費国庫補助金は、前年度と比較しても1,000万余り増えているが、この説明の中にちょっと思ったが、地方創生推進交付金。地方創生が声高に叫ばれている中、この国庫支出金の地方創生推進交付金が極端に少ないなとは思ったが、執行部のあちこちで話を聞いて、なかなか事業計画が進んでないような話を聞くが、せつかくの地方創生の交付金が十分に活用されていないのではないかという危惧を抱いているが、

この辺について説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 地方創生は声高に叫ばれていて、一生懸命やらなければいかんと感じているが、非常に採択要件が厳しくて、予算枠に対して全国から上がってくる分も3分の2程度、3分の1は球がないというような状況にある。というのは、先進性がどれだけあるか、広域性がどれだけあるか、県と市・町と一緒に取り組んだり、例えば五島列島の全ての自治体で同時に取り組むような事業とか、そういったもので、かつモデルとなるような事業ということで、非常にハードルが高いもので、なかなかそういう球出しができていない状況にあるということだ。それと一方で離島活性化交付金の球出し、国境離島の球出しも言われており、球をたくさん出せと言われて苦慮するところだが、どちらにしてもそういったものが全て雇用創出につながるものという、また小値賀町では受け皿になるような事業体がない、町が事業主体でやれるようなものではないので、パートナーが要るので、そういった面でもなかなか取り組めない状況で、今のところこういう金額になっている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） これは議会のほうも地方創生の委員会があって、特別委員会の委員長をしている土川さんが委員長をやっているが、議会でも活発な意見交換をやっていないとは思っている。しかしそう言いながら、執行部も球出し球出しと、なかなか球がないので出しにくいのは分かるが、せつかく国が力を入れて地方再生をどうにかしようというときに、球がないと言って指を口にくわえて黙っておくのも問題かなと思う。せつかくしっかりした計画を立てれば交付金が出る仕組みになっているので、こういうときには、例えば島外のいろんな専門家とかコンサルタントとか、大学の先生とかいろいろ相談をして何かいいアイディアを導き出すような政策とかできないものか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 専門家に相談するにしても大学と連携するにしても、具体的に小値賀町内できちんとしたものがないと、「どうしたらいいですか」という質問の仕方では、相手の回答も帰ってこないとなるので、はっきり「これがやりたい。これをするときこういう問題があるので、どうすればいいか」というような具体的なものまで入らないと、専門家に相談すると言ってもやりにくい。つい先日、創業支援セミナーというのを産業振興課でやってもらったが、非常にためになる起業とか企業経営とかいった話でコンサルタントが来て、県もそういう制度を作って、比較的そういう専門家を派遣しやすいように、国もなっているが、やはり地元がきちんとそういうものを作り上げないとなかなかそういうところに相談しにくいので、今後はそれが課題だと認識しているので、みんなで話し合っていく必要があると思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今、離島に関わる交付金の制度というのはいろいろあるが、離島振興法とか、最近では国境離島新法、それから離島活性化交付金とか、いろいろあって執行部は

大変だと見ている。いろんなアイデアを出さないとなかなか交付金が付かないということ。しかし、この予算書を見る限り、13万8,000円、議員の給料よりも安い金額で少しがっかりというか、これでいいのかなと思った。この予算書を見て1つ提案したいが、離島に関わる交付金がさっき言ったようにいろいろあるが、地方創生なら地方創生、離島活性化なら離島活性化、もしくは地域社会維持推進交付金なら交付金、別々に分けなくて、小値賀町の雇用を生み出す、産業を生み出す、そして今ある産業を活性化させる。そういったことを総合的に戦略を立てる対策会議とか対策委員会とか名前は何でもいいが、小値賀町をどういうふうに活性化するか総合ビジョンを、みんなで知恵を出し合う組織を総務課長自ら立ち上げてやってもいいかと思うが、そういった考えはないか伺いたい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 非常に大きなテーマだと思う。ただ、なかなか総合戦略の策定委員会で検証などしているが、そういった会議というのが、メンバーがどうなのかということもあるし、それぞれの専門、農業なら農業、水産業なら水産業、商工業もそれぞれの既存の団体があるので、会議をいくつも重ねていくとなかなか難しいという気がする。だから既存の会議の中にこういった制度を周知して、その中からやる気が出てきたり、もともとそういう構想を持っている人を引っ張り上げるほうがむしろ現実的かなと考える。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） いろんな問題を含んでいるのも、なかなか交付金を活用できないのもよく分かる。そうすると、この前議会でも中学生の町への提言という議会の活動があったが、今から夢のある子どもたちを、中学生にしても高校生にしても、子どももメンバーに入れて、夢のある話を聞いてつなげていくというやり方もあると思う。それから親和銀行、小値賀では外の企業と言えば親和銀行だ。この前支店長とも銀行の持つノウハウを町の町づくりに活用できないかという話をしたが、「相談があれば、自分の会社の専門家を招いて講演をしてもらったり、そういうのはやぶさかではない」と言っていた。確かに役場はハードワークで大変忙しいのは私も肌身で感じている。だからと言ってせつかくある交付金を十分に活用できないのであればもったいない気がする。大変かと思うが、若い職員でグループを作ってもいいと思うが、何らかの努力をしてほしいと思うので、中川課長もあと数十日で辞めるということで、これ以上僕はどうしたらいいだろうと思っていると思うが、後輩にこういった地方創生推進交付金なんかも十分活用できる態勢を若い人とも相談して作り上げていってほしいと思う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） あまり無責任な答弁をするわけにもいかないが、今ここに役場の課長クラスは皆いるわけなので、確かに、地方創生がこれだけ言われて、金額がこれだけしか上がっていないというのは、ちょっと厳しいのかなと思っている。一方では国境離島のほうでも、裏に予算枠が足りない分は地方創生の推進交付金を充てるという話もあるので、こういったものを情報を共有してつないでいくというのが、まずできることかなと考

えるので、どんどん情報を役場から出して、地域の活性化につなげていかなければいけないので、できることから努力していきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 14 款・県支出金 横山委員

委員（横山弘藏） 4 目・農林水産業費県補助金。これの説明の中にある農地利用最適化交付金は新しく目にしたが、これに用いられる事業はどういうものか。

委員長（土川重佳） 農業委員会事務局長

農業委員会事務局長（中村慶幸） これは 28 年 4 月から創設されている交付金で、先日 12 月の議会でも農業委員会関連の議案を上げたが、いよいよ 7 月から新体制に移るということで、3 月の議会にも委員任命の議案を上げている。新しい制度の中で、農業委員プラス農地利用最適化推進委員の活動に対して交付される交付金になる。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 15 款・財産収入 横山委員

委員（横山弘藏） 2 項 4 目・出資金等返還金。担い手公社リースハウス建設資金返還金とか、担い手公社関係の 5 項目が説明の欄に載っているが、調べたところによると個人負担分を担い手公社を通して受益者負担分を返してもらっているということだが、これを利用して返還している人は何人ぐらいいるのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） ハウス関係で 3 名。落花生の収穫機、ミニトマトの集出荷場に関しては所有者が担い手公社になるので、利用者から利用料という形で負担してもらい、それを償還に充てるという形になる。牛のほうは 5 名。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 担い手公社に関しては利用料からということだが、例えば担い手公社落花生収穫機械導入資金返還金は 9 万円だ。そんなものか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この収穫機械の出資金の総額は 63 万 2,740 円で、28 年度から 7 年間にわたっての償還になるので、単年度ではその額になる。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 16 款・寄附金 宮崎委員

委員（宮崎良保） ふるさと寄付金で何うが、現在、平成 28 年度の決算見込みではいくら考えているか。総額ではおぢか新聞等に乗っているが、28 年度単年度での収入はいくらか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 124 万 6,000 円。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 124 万 6,000 円ということだが、年々下がっているのではないかと私は

思うが、今はどのような方法で啓蒙しているのか。また将来的な啓蒙はどのように考えているか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 啓蒙については、出郷者の会の各小値賀会が主で、なかなか宣伝というか、ほかにはやっていない。あとは、浦議員が同窓会の際に言ったり、啓蒙自体は多くない。金額が減っているということであれば、以前は大口の方がボンと入れていたのが、今は小口で、若い人でも小値賀を出て行った人が寄附するケースもあるので、件数自体は逆に増えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 啓蒙自体は小値賀会でしているということだが、私もできるだけ小値賀会に参加しているつもりだが、そこでの説明のみということか。小値賀会の会長に文書で啓蒙活動というのは現在はしていないという認識でいいか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） チラシ等を入れている。そういった形で従来からやっている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） ふるさと寄付金は貴重な財源だと思う。これから。国でも啓蒙活動を一生懸命やっている。やり方についてはいろいろ問題もあろうかと思うが、本町でももう少し積極的に啓蒙したら貴重な財源が出てくるので、そしたら町長の給料も上げられるかなと思うので、今後も啓蒙については十分に検討してほしいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） ふるさと寄付金に関連するが、よその自治体は相当、何十億とかいうお金が集まって、今度はそのお返しで赤字になってるとか、それから税の特別処置で税収が減ったとか、いろいろ新聞で話題になっているが、小値賀は財政的に非常に脆弱で、こういうのは大いに利用して収入を増やすのはいいと思っているが、ああいう新聞等の報道を見ると、やっぱり少し問題があると感じている。しかし財源を確保するにはいい方法と思うが、小値賀町にとって、これを宣伝して増やして、お返しは無理のないものにして、徐々にふるさと寄付金を増やしていくというのは考えているか。これは町長があまりいい感じを持っていないとは聞いているが、その辺はどうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） ふるさと納税については、いろんな意見が新聞等に載っているし、役場内でも意見が統一されているわけではないが、基本的には応援したい自治体になるような情報発信の仕方をするのが原則だと思う。そういう意味では、さっきもつなぐという話をしたが、総務課のキーワードが「つなぐ」となっているので、そういう面では小値賀町の情報を発信しながら、「こういうことで悩んでいる」とかも含めて情報を発信しながら、相手から応援したいと思わせるのはいいのかなと思うが、特に今、起業しようとしている人たちの試作品を入れるとか、そういった試みは少しはやっているが、今後、そうい

う方向でやっていければと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） ふるさと納税は確かに問題も含んでいるようだが、小値賀町は今チャンスじゃないかと私は思う。野崎島全島が世界遺産になる可能性も出てきているし、国の重要文化的景観にも指定されているし、古民家の宿泊も全国に有名になっているようだ。小値賀町のそういう優れた資産を生かす上でも、ふるさと納税にこれを載せて宣伝に使うと。何かものをするというのも、今は小値賀はいろんな特産品に取り組んでいるので、そういうのを宣伝する上でもこれを利用する。小値賀に限っては、新聞等で騒がれているマイナス面じゃなくてむしろプラスのほうが多いんじゃないかと私は考えている。町長はあまり前向きではないようだが、本当は町長に答えてほしいが、少し力を入れて、もし赤字になるようなら止めてもいいので、とりあえずしっかり一度取り組んでみる必要がある時期に来ているのではないかと私は思っている。せつかく予算書にこういう項目があるのに、項目設置の位置しかないというのが寂しいと感じる。小値賀町を活性化しなければいけないこの時期に、大いにふるさと納税も活用する方向でやっていただきたいと思う。これは機会があればしっかり一般質問で町長に問いたいと思っているので、もう課長の答弁はいい。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 横山委員の関連質問をする。そしてさっき課長から名前を言われたので。このふるさと納税については、返礼品というか、2,000円相当を落花生製品や海産物などをやっているようだ。だから巷で騒がれているように返礼品が高額になるようなことは小値賀にはない。しかし、ふるさと納税をたくさんしてもらって、極端に言えば、私は税収が1億5,000万から今度は1億6,000万になったか、そのくらいを見込めばと、それ以上できれば、さっき宮崎委員も三役の報酬もできるんじゃないかと言っていたが、そこは考えてもいいかなと思っているが。それで、仮に1億2億3億もふるさと納税が来た場合、心配するのは、そういった製品が確保できるのかだが、それは老婆心と言えればそれまでか分からないが、仮にそうなった場合の対策などは考えているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 考えていないので、仮にいきなりそういうふうになったときには、たぶん対応しきれないと思うし、職場的にも専従の職員を1人配置しないと対応しきれないと思う。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 今朝のテレビでもあっていたが、今はふるさと納税をふるさとが「何をどうしたい」という目的を持ったものに対して、例えば小値賀であればホテルが要るとか、スキューバダイビングを開拓するとか、野崎島に何々を作るんだとか、目的を持ったふるさと納税の集め方のほうが、今は逆に増えていると。そして「自分たちが寄附してきた。じゃあ行ってみようか」ということになる。物販はいろいろな問題点も指摘されて

いるということで、そういうことに変化しつつあるので、例えば小値賀は民泊も古民家もしている。そういうところに一泊券をやるとか、いろいろな返し方がある。そこを含めて、物だけじゃなくいろいろな返し方、ふるさと納税の集め方を研究してもらいたいと思う。それについて一言。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 私が答えにくいですが、ふるさと納税については、常にこういう話があるので、役場内部でも課題として整理して対応していきたい。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） それについても関連して質問するが、その前にさっき考えていないと言ったが、世界遺産となりお客が来ると土産物などもたくさんいるので、そういうところはちょっと考えてもらわないといけないと思う。絶対量を作りきれないのであればしょうがないとは思いますが、しょうがないなりに前向きに検討してもらいたいと思うので、指摘しておく。それと松屋委員が言った、目的を持ってということだが、それは大切なことだが、パンフレットには「ぎばれ何とか」とか書いてあった。その中には目的が書いているが、詳細は書いていない。例えばふるさとの振興のために使うと、だったら振興のためには何なのか、1から5ぐらいまで詳細に出してもらえればと思う。この2つだけ、私が頼むのもおかしいが、指摘したい。難しいと思うが、答弁をお願いしたい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 先ほどの用途、目的の話だが、町長からも「貯めるばかりで使わんということになると寄付者の意向に反する」という話もあり、先般の課長会で皆で話をしたところだ。なかなか、金額にもよるし、これに充てるというのが、みんなが納得するのか非常に難しいところでもあるが、一応、29年度、小値賀に帰ってきて農業をやるといいう農業後継者の奨学金に充てたらどうかということで、予算の中ではそういうことをしている。島に残る人材に充てるというのが一番理解が得やすいのかなと思っているので、あとは教育関係などもあるし、その辺で考えている。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第17款・繰入金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第18款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第19款・諸収入

浦 委員

委員（浦 英明） 5項の受託事業収入、これは存目設置だが、ずっと前を見たが今までなかったもので、これは何が入ってくるのか尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） ビジターセンターにちょっとした飲み物その他、置くようになるかと思うので、お客さんの状況を見て売店を考えているが、とりあえずは29年度は直営と

考えているので、そういったものを町が仕入れて売るという考えではなく、そこで売った分からいくらか手数料をもらおうと考えているので、それについて存目設置をしている。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第20款・町債

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 歳入全般についてご質疑願う。 宮崎委員

委員(宮崎良保) 地方交付税のところで伺うが、福祉事務所の交付金が特交から普通交付税に変わったということで、我々としてもこれを作るときにはこうできないかと、かなり要求したわけだが、何故今回から普通交付税になったのか、経緯が分かれば伺いたい。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) いきなりそういう改正の情報が入ってきたので経緯は定かではないが、たぶん宮崎委員のような格好でいろんな団体から要望があったものと思う。県もどんどんスリム化する中で、市・町に合併後どんどん業務を移していく方向なので、そういう面では普通交付税でない、特交ではさじ加減で、というのがあるので、やはり全国的にそういう流れの中で交付税法というのが改正されたと思う。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) 我々が運動したときには、鳥取だったか島根だったか、その辺が町村に移行するのが一番多かった。そういった中で、その県の自治体も普通交付税にできないかという要望をしていた。それによって我々も県に行ったりなんだりしたが、やはり県としては、県とか市には普通交付税だが町村には特別交付税だということで、非常に戸惑った経緯がある。そのような経緯で来てるので、今回に限っていきなりこうなったというと、嬉しいが気持ちが定まらないので、後でいいので、経緯が分かれば知らせてほしい。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) あとで調べて報告する。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 質疑なしと認める。

これから歳出に移るが、担当課ごとに質疑するので、総務課と住民課以外は退室して結構。

しばらく休憩する。

— 休 憩 午 前 11 時 35 分 —

— 再 開 午 前 11 時 43 分 —

委員長(土川重佳) 再開する。

一般会計予算歳出に入る。

本日は第1款・議会費、第2款・総務費、第8款・消防費、第11款・公債費、第12款・

諸支出金、第13款・予備費についての質疑を行う。

それでは款を追って質疑願う。

第1款・議会費

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第2款・総務費 宮崎委員

委員(宮崎良保) 定住促進用住宅改修事業で昨年から比べると倍になっているが、本年度の実績はどうなっているか。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 昨年は1軒だったが、今年度は2軒を予定している。一応、空き家バンクに登録してもらった家の中で、所有者の同意をもらっている。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) 1軒ということだが、それはどこの地区か。個人名は無理と思うが地区名ぐらいは教えてほしい。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 28年度は中村地区。29年度は唐見崎と前方後目で、前回からも新しい人を地域にばら撒いたほうが、地域の雰囲気が変わっていいとの話もあるし、またスローライフを希望する移住者も、意外に地域になじむ方もいるので、そういうことで良いのかなと考えている。

委員長(土川重佳) 今田委員

委員(今田光弘) 今の件だが、中村の住宅を見るとすごいすてきな住宅になっているが、中身というのではないのか。本当に皮だけか。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 建物が相当老朽化しているので、場合によっては屋根の修繕であったり、主に内装や水周り、もう少し安く仕上げたいが、改造というのはお金がかかると感じている。

委員長(土川重佳) 今田委員

委員(今田光弘) 例えば備品関係などはどうか。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 基本的に備品は、流しとか風呂桶とかは当然、設備として入るが、例えば電気器具とか電化製品とかいったものは入っていない。

委員長(土川重佳) 今田委員

委員(今田光弘) そこに住めるのは3年間と聞いたことがあるような気がするが、3年間にした理由は。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 慢性的な住宅不足の中で、3年もいれば住む家を自分たちなりに見つけてほしいという気持ちもあり、いつまでも町が整備した住宅にずっと住み続けるとい

うのはどうなのかなと考えており、今のところそういう制度にしている。状況に応じてそういう制度は見直しはかかると思うが。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 6目の企画費、36ページから37ページにわたって質問したい。企画費の中で、共済費、報償費、役務費、備品購入費、この項目に六島地区の限界集落再生に関して予算が上がっているが、これは六島の小金丸梅夫さんの活動に対する協力みたいなものだと思うが、もう限界集落というより限界集落も終わっているような島だと私は上陸して思う。視察にも1回行ったが、確かに梅夫さんが一生懸命開墾したり畑を再生したり、いろいろやっているのは目にしている。しかし今の状況の中で、これだけ毎年予算を使っていくと思うが、六島の再生のイメージ、どこまで限界集落に対してこういった予算を立てていくのか。何かビジョンもしくはイメージ、その辺の見通しが何かあってこの事業を展開しているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 無人島になりつつある六島の再生ということは非常にハイリスクで、お金をかけるのはどうかという意見は当然あると思う。ただ、六島に人がいなくなると、六島・野崎航路自体は、野崎に住民票を1人置いているので、はまゆうの航路が補助航路になるかどうかというのはシビアな状況になるので、なんとしても六島に存続してほしいと思っている。六島のイメージとしてどうかということだが、最悪であれば駐在員を1人置くとか、そういった可能性も無きにしも非ずと個人的には思うが、六島には漁港が2つあり、今のような磯焼けの状況の中で、簡単に仕切れれば1つはいろんな試験場として使えるのではという考えも水産のほうでは持っており、用途変更とかの作業はあると思うが、非常にきれいな海なので、そういった利用が今後見込まれるということと、六島にはいくらか住宅等もあるので、そういった住宅を修繕すれば貸し別荘として使えるのではないかと、観光の幅が広がる可能性もあると考える。安全対策さえしっかりすれば、夏休みに家族連れで家族の絆を深めるようなものに使えるとなれば、将来的にはシーズンだけでも管理人がいるとか、ITなんかと連携して観光の幅が広がる可能性もあるので、町道が歩ける状態に守ることとか、梅夫さんが考えるように自給自足の部分を少し確保するとかいったことがあるので、29年度の活動については、隊員にもそういう視点で活動してもらうよう話もしている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今の話で、少し前向きなことがあると感じた。六島は鯨漁の発祥の地か、最初の拠点だった歴史もある。そして総務課長が言うように立派な港が2つあり、自然環境も小値賀本島とは全く違い、ちょうどトンボの時期だったが、博物館みたいにいろんなトンボが飛んでいた。確かにこのまま無人島になって誰も住まないというのはもったいないと感じている。だからこそ、これだけ六島に関しての予算が上がっているということは、やはり私もこれを生かしてほしい。梅夫さんの協力をして終わるんじゃなくて、今

言ったように、協力隊も先を見越してあそこで事業を起こすとか、確かに観光事業に持っていてもいいと思う。ある程度計画性を持って、年次計画みたいなものを立てて、この3年間はこれを、次の3年間はこれをやるといったふうに、しっかり小値賀町の二次離島であり国境離島である六島を再興していくのは非常にいいことだと思うので、投資効果が現れるように今後注意してやってほしいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 浦 委員

委員（浦 英明） 同じところになるが、地域おこし協力隊の情報発信謝礼 192 万、これは給料相当だと分かるが、その下の団体への謝礼が何なのか尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 地域おこし協力隊のうちの1名が2年目に入るが、1年間ほぼ総務課で仕事をしている中で、もともとの目的が地域おこしということもあり、いろんな町民と幅広くつきあって、特に障がい者や高齢者グループなどにも頻りに顔を出している中で、29年度からは街の中に憩いのスペースを設けて活動していくということもあるが、今回、2月にえらかさるんなの担当部局と一緒にあって、高齢者向けのオレオレ詐欺みたいなものの寸劇等をやっている。非常に好評だったということもあるだろうが、町内で高齢者も含めた素人劇団的なものをやりたいということで、東彼杵とかにはそういうグループもあるらしく、そういった人たちを招聘して小値賀で劇団を立ち上げることができないかという話もあり、そういった活動に対する謝礼をここで上げている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） どこかで見したが、みなとやに移転して活動を移してやるということがどこかであったが、それとはまた違うのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） それと同じ隊員だ。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） みなとやというのはインテリアヨシモトのあそこか。分かった。それと、世界遺産の登録記念事業関係の報償費が27万あるが、これは主要事業一覧表に書いてあり、各種イベント、シンポジウム、オペラ、コンサートと書いているが、もう少し詳しく説明してほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 細かい話はこれからになると思うが、シンポジウムをして基調講演、それからシンポジウムなので関係者の話し合いをみんなが聞くようになると思うが、あとは記念のオペラ公演をしたいと。その時に住民も巻き込んで一緒になって、音楽の講習なども含めてやるような話になっており、これに関しては教育委員会とタイアップしてやることになっているので、総務のほうが全部詳しく分かっているわけではないところだ。（マイクなし「オペラはどこでやるかなどは？」）

総務課長（中川一也） 予定ではやはり旧野首教会を活用することになると思うが、皆が

皆行けるわけではないと思うので、そういう面では島内でもやるのかどうか、詳細は今ここでは分からないが。

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

— 休 憩 午 前 12 時 00 分 —
— 再 開 午 後 1 時 29 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

午前中に引き続き、第2款・総務費

松屋委員

委員（松屋治郎） 38 ページ 1 項 19 節・小値賀会交流活性化事業関係で、前年度が 145 万 6,000 円ある。今年が 47 万 5,000 円という予算になっているが、どういう事情か、内容をお願いする。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 平成 28 年度も予算を組んで、小値賀会と町民との結びつきを強くしようということで、小値賀町民の中で積極的によその小値賀会の総会に出席するための旅費補助を組んだが、28 年度も周知が遅かったせいかもしれないが、非常に参加者が少なかったということで、今回、去年の実績を踏まえて予算を組んだところで、金額的には下がっている、できれば小値賀会も活用しながら結婚対策等にも結びつけたいと考えている。先ほどのふるさと寄附金の件でもそうだが、小値賀の人口が少なくなる中で、小値賀会を活性化することで側面的に小値賀町の地域活性化につながるようにしたいとは考えている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 37 ページの花嫁対策について伺う。町の総合計画にあるように、10 組予定して 3 組はまとめようという考え方になっているが、この実績と今後の取り組みについてお願いする。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 個人情報でもあるので、いろいろと言えないが、今までの活動の中で 2 組が何とか結婚までこぎつけるという状況だ。やはり継続してやっていかないと、人口減少対策にとっては結構重要だと思っているが、なかなか取り組み方が難しいところがあるので、コンサルを利用して、コンサルのほうから独身の男女にアタックしてもらっているところだ。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 38 ページ、先ほど松屋委員が言った上のほうだが、小値賀交通の運航費補助が 1,000 万増額しているが、内容について尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 小値賀交通については 28 年度に新車のバスを購入している。非常に老朽化しており、今、ちかまる号にほとんど片寄せして運行している状況だ。もう 1 台

が壊れる寸前なので。新車が入った段階で、今度はちかまる号のオーバーホールというか、かなり修繕をしなければいけない状況で、そのために修繕費がかさむということで、28年度は逆に補助金を少しカットして、29年度にその分を回している状況の予算措置をしている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 今のは分かった。補正予算で聞けばいいが、ついでだから聞くが、さっき言ったとおり28年度は大体700万ぐらいになる見込みだと思うが、それについては、運営費補助が下がったというのは何だったのか、尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 運営費補助は、当初予算立てを第3セクターのほうが行って、それに伴って実際の実績を見ながら変更をするという手続きを取るのだから、その細かいところは修繕費等見込んでいたものを延ばしたり、新車購入のこのタイミングなので、老朽化した車のほうの修繕料が相当かかるだろうと見込んでいたのを応急的な修繕で引き延ばしているといったこともあり、最終的に今のような状況でいけそうだとということで、最終的に実績に応じて補助金を減らすと。これを補助金をそのままやると今度は黒字になって、法人税を納めなければいけないということもあるので、その辺は精査して最終的にきちんとしないといけないと考えている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） そこを聞こうと思った。700万にした理由は、今言ったように黒字が出たら法人税を払わないといかんから、そのような答弁なのでそれはそれでいいが、この1,000万については、今度は運営補助が700万で、あとオーバーホール等については300万ということでもいいか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 運営費補助自体の運営費の部分が若干変動があるので、700万きっかりというわけではないが、今の予算立ての中では通常の運営費補助金、大体800万程度だったと思うが、それに上乗せして、オーバーホールの金がかかるということで、それを見込んで1,000万、あくまでも見込みだが、計上している。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 地域おこしの企業人何とかで何うが、この企業人、三大圏から企業を呼び込んで小値賀で活動させるということがここに書いているが、主に空き家バンク推進事業の充実を図るのが目的だが、どういう意味か。彼らを利用した小値賀の活動に対する目的というのではないのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） これについては私もあまり詳しくなかったが、今回、いろいろ調査したところでは、企業がバックに付くことでかなり効率的なスキルというか、人脈とかいったものを活用して地域おこしができるということで、場合によっては旅行会社のJTB

との地域おこし企業という形を取っている県内の自治体もあるし、今回、たまたま縁があったのが東京の国交省のいろんな事業を請け負うような大手コンサルの技術職の職員であったので、そういう面では今の空き家対策の部分では期待できるのかなと思っているし、うちのほうとしても空き家対策が喫緊の大きな過大になっているので、その辺で活用できればいいのではないかと考えている。財源についてはやはり地域おこし協力隊と同じで特別交付税措置ということになっている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 空き家バンクの家の修理に主にしたいという考えか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） どれだけの幅でどれだけの仕事をしてもらうかというのは、仕事量を見ながらだが、それに特化してという、余力があれば、当然いろいろ、もっと幅広い活動をしてもらいたいと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 29 ページの総務管理費の 8 節の報償費。これに救急患者輸送謝礼というのが毎年計上されている。申し訳ない、この救急患者輸送謝礼費とはどのようなものか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 救急患者輸送確保対策事業というのは従来からあったが、自衛隊ヘリを活用するときに医師の同乗が義務づけられており、そういった場合にその医師に謝礼を支払うようになっている。現在はほとんどドクターヘリで間に合っているので、ドクターヘリの場合はそういったことがないので、予算は計上するがあまり執行の事例が最近ないということだ。一応、4 回同乗分の謝礼を計上している。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 同じく総務管理費、33 ページの 13 節・委託料。ホームページ管理委託料というのが入っている。去年か、ホームページは町の職員が管理するという話をもらったが、このホームページ管理委託料とはどのようなものか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） ホームページについては、平成 27 年度に大幅にリニューアルしているが、福岡の業者に頼んでいるが、やはり年 2 回のメンテナンスという部分があったほうがスムーズにいくということで、そのメンテナンスの費用を予算計上させてもらった。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 35 ページ、15 節・工事請負費に小値賀町のターミナルの待合所の整備事業ということで、野母商船からももらった 250 万のうち 100 万円を美咲海送の元の場所に仮眠所を作るとのことだが、野母商船から 250 万寄附いただいていると思うが、使うのが 100 万ということで、あとの 150 万の使い道というのは、何かほかにあるのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） あの時確か野母商船が各自治体に 250 万ずつ、佐世保市にも新上

にも五島市にも小値賀町にもいただいたが、今回は男性の仮眠室が、今、仮設でずっと引っ張っていたものを女性仮眠室とほぼ同じような形で空調と仮眠所を設けるということで、かかる経費がこれぐらいだったら大丈夫だという見積もりのもとに予算を計上している。残りの金額については、寄附の目的に合わせたいとは思っているが、今のところまだ用途が決まっていない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 分かった。37 ページ、14 節の使用料及び賃借料ということで、「町イチ！村イチ！事業関係賃借料」とあるが、この「町イチ！村イチ！事業」とはどんな事業か。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 首都圏で年に 1 回、町村それぞれが一同に会してイベントをする
が、情報発信と物産販売、一部飲食コーナーもあるが、有楽町の東京国際フォーラムとい
うところが会場だが、長崎県の町村会からの補助をもらって、2 年に 1 回長崎県の 8 町が参
加するようになっている。その場合、ブースを使用したり、テーブルとかいったものを現
地でリースしなければいけないので、そういった使用料の経費を予算計上している。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 41 ページ、一番下の 8 節の報償費だが、納税組合の手当と奨励金とい
うのが毎年上がっていて、今年はいよいよ去年より多くなっているが、納税組合というもの
自体が有効に機能しているのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 以前は納税組合というのがあり、それぞれ納税組合で皆さんの分
を集めて役場に納税してもらっていたが、今はそういうことがなく、おのおの個人で納税
してもらっている関係だが、今回この予算が増えたのは、口座振込とかしている分は以前
は納税奨励金に入れなかったが、その地区の納税ということで、それも含めて納税奨励金
を払おうということで、今回増額補正をしている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうなると、今まで振込の人が対象外だったのが対象内になるとい
うことか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） そのとおりだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 先ほどちょっと出たが、地域おこし協力隊の六島の、今 2 名付いてい
ると思うが、1 年目の成果としてどのようなことがあったのか、もし報告できたらお願いす
る。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 先日、地域おこし協力隊のメンバーの報告会があったので、それ

を聞いた方は分かると思うが、基本的には農地の復元であったり農道、それから一部には IT のこどもキャンプとかいったものを六島で受け入れたとか、そういった事例であり、基本的に1年間、まあ1年間なかったが、7カ月ぐらいの活動だったと思うが、その中から次年度はこういったことをしてみたらどうかとか、いろんな意見が出てきて、そういう中で2年目の計画をこの間打ち合わせをしたところだ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 **浦 委員**

委員（浦 英明） 35 ページの一番上のほう、12 節の役務費の火災保険料が 29 万 1,000 円あるが、これしかないのか、あとほかはどういうふうになったのか、尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 28 年度当初予算で 340 万組んでいたところが 29 万 1,000 円になったということで尋ねていると思うが、今回、公会計をいよいよ 28 年度決算からやらないといけませんが、29 年度の予算立ての段階からばらしてしまわないと、決算の段階でそういう手間をかけなければいけないということになるので、予算が自動的に最終的に決算に積みあがっていくようなシステムになっているので、この予算の段階からそれぞれの目的別にその建物ごとに建物共済をばらしてしまったので、予算書のいろんなところで 12 節で火災保険料というのが上がってくる。その部分はそういうふう理解してほしい。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 大変よく分かった。その下の委託料で、公共施設の雨漏り対策調査委託料というのが 30 万計上されているが、この内容について尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 公共施設は、できてすぐでも老朽化しても、時々雨漏りの問題が出て、今回の予算の査定の段階でも数箇所にも雨漏りの問題が出て、上司のほうから行き当たりばったりじゃなくて調査をかけて、正確に計画をしてからやったらどうかというアドバイスもあったので、今回ここに塗装関係の業者と設計業者に小値賀町に来てもらって、いろいろと下調べをして、方向をきちんと確認した上で業者に修理を頼もうと考えることで、今回ここに調査費を組ませてもらった。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 協力隊のことで何うが、この前私も発表会を聞きに行つてちょっとがっかりしたが、これという掴みようがないような発表会のような感じがしたが、協力隊は大体 3 年間だろう。それで IT 協会に 2 年勤めて、今度は六島に行つて六島の仕事をするとというようなことを聞いたが、そういうふうに変換はできるのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 地域おこし協力隊は 1 年契約の最長 3 年間という制度になっている。入つてきて自分がイメージしてきたところと小値賀の現状とギャップがあったりして、自分がほかにやりたいことが 1 年たつて見つかつて、その方向性が小値賀町の地域おこしに資することであれば、内容を変えることもよしとしているところで、当然、不適合で 1

年持たないで小値賀町を去る方も過去にいたし、3年たって出ていく人、3年たってそのまま定住する人、いろんなパターンがあるが、極力定住に向けて活動してもらいたいということなので、嫌々な仕事をずっと3年間続けて、というようなことでは考えていない。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 **浦 委員**

委員（浦 英明） 37ページの一番下、国境離島、これは運賃の低廉化だが、先日町長が詳しく説明したが、フェリーの半分程度を補助すると。そして証明書みたいなものを添付しなければいけないということだったが、こういったのをもう少し詳しく説明できないか。例えば証明書は運転免許証でいいのか、そういったところ。あと、これは後でおぢか新聞あたりで周知するのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） この件については、住民に周知を今から当然かけなければいけないと思っている。防災無線でという話も出たが、防災無線には合わないだろうということで話をしたところだが、チラシで1軒あたりそれぞれ投げ込みをしないといけないぐらいの、非常に住民生活に影響することだと考えている。本来は離島住民であるという共通の証明書を発行するという事になっているが、とても4月の段階では間に合わないということで、およそ1年は運転免許証もしくは国民健康保険証、後期高齢者医療保険証といった公的機関が発行したものであればそれで住民とみなすとなっている。一応、九商の窓口で提示ということになっている。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） これの事業負担金が1,800万になっているが、この予算での旅費は当然、金額は分かっているから反映させてないと思う。今の価格で計算したとしたら、この予算の中に旅費がどれぐらい軽減できるのか。大まかに分からないか。何百万かありはしないかと思うが。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 計算して、その分当然、職員の旅費が下がる分があるので、補正で対応させてもらいたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

（住民課退室）

委員長（土川重佳） 第8款・消防費 **浦 委員**

委員（浦 英明） 3目の災害対策費のハザードマップ、この使用料について内容を教えていただきたい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 長崎県でハザードマップ作成支援システムというのを導入しており、各市町にそれを提供できるようになっているので、それを使用して小値賀町の情報を入れ込むという作業ができるということで、これの使用料を県に支払うということだ。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 分かった。このハザードマップについては、小値賀町では既に作成しているのではなかろうかと思うので、作成していたら後で見せていただきたい。そして町民にも知らせてほしいと思うが。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 後で確認して報告する。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 2日前か、斑で大火事があり、これもって初期消火が遅れていたら大災害になったのではないかと思うぐらいに火の粉が飛んでいた。そこで、前の議会で話したと思うが、随時、地域の消火活動の備品をお年寄りや婦人が扱いやすい、筒先を小さい方向に変えていくとかいう話をしてしたが、その予算は組んであるのか。もし組んであればどこに当たるのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） その予算については、88 ページの需要費の消耗品費を見てもらうと約 60 万、昨年よりも余分に計上しているが、40 ミリの消火ホースの分をここで計上している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） そうであれば、確かにホースは傷むので需用費の消耗品扱いでいいと思うが、筒先も消耗品扱いになるのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 細かいところについてはちょっと確認をしてみるが、一応、今、予算計上は消耗品扱いで組んでいるので、備品が適切であれば備品のほうに組み替えたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） この中の 60 万ぐらいがその予算ということだが、それは 1 カ所の予算か。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） ホース自体は 1 本が 1 万 4,000 円ぐらいなので、またそのほかにも消耗品は従来のホースの分も合わせて 190 万ぐらい組んでいるので、そういった中では必要量、特に急がれるところから、全部が全部いっぺんに小値賀町内で替えることはできないと思うが、ある程度、一定、できるように考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 消防費で、この間の斑の大火事でちょっと気づいたことを、予算に反映してほしいと思うことで意見を言うが、小値賀町はやっぱり、現場が道が入り組んでいるところが結構多い。現場に行ってみていつも私は感じるが、小さい路地をホースを持って、本当に迷路みたいにホースをつないでいくが、私も、うちの義理の母がいるのでびっ

くりして駆けつけたが、消火活動を見ていて、懐中電灯を、各分団小さくて性能のいいやつを 1 つ持っていたほうが安全のためにもいいのではないかと気付いた。太いのは何て言うか、サーチライトか、投光器は主なところに置いているが、分団員とか移動するときに足元が見えなくて結構苦勞しているのを見た。それで私は家にある懐中電灯の小型の強力なやつを 1 つ持っていったが、大変助かった。そういった意味で、消防団一人一人に、ヘッドライトみたいな、夜の活動、大火事は意外と夜が多いので、ちょっとしたヘッドライトみたいなものも付いておれば、かなり便利じゃないかと思ったが、その辺、予算に組み込むことはできないか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 今のところは各消防団に懐中電灯を 2 つ 3 つずつは配置しているが、ヘッドライト等については、安全装備品とかいった制度もあるので、今後検討させてもらいたい。消防団の意見も聞いて確認したい。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 同じような斑のことで私も見に行ってみて感じたが、あそこは狭いし上りになっている。普通車も通らんということで、あらかじめ消火栓の配管というのは何カ所かできないか。用水はあるが、そこまで行く車がなかなか防火用水のところまで近づけないということもあるみたいだ。そういうことで、あらかじめ消火栓を何カ所か引いておいて、そこから給水すると。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 前からの経過は私は知っているので答えるが、斑みたいに消火栓等の設備が整っているところはないぐらいに揃っている。現実には、ただ、いろいろ話を聞いてみると、最近、水漏れがしたので止めていたと。2 年ほど前に起こった火事ときは、家の前に消火栓があった。なんで消えないのかといたら、殺している。だからそういうところがもう少し気配りが足りなかったかと思うし、やはり自衛消防隊がもう少し活動してもらえればよかったのかと思う。今度も現場を見ていたので気付いたが、やっぱりでかいホースではどうしても、上の池、在の裏のほうの墓のところの池から水が来ている。だからあまり高低差がないので、あまりばんばん飛ぶということもないので、それを防ぐためにはやはりホースを小さくする、圧をかけるということが必要になるかと思う。そういうことで、反省点ばかりだが、先ほどのホースの配分についても、やはり斑のほうからしていかなければならないという感じを持っている。それともう 1 つ、あれだけ長い時間給水ができたのも、タンクの中に保水をする装置が付いているから、ああいう時間帯に保水ができた。もちろん塩水もかなりかけていたが、それでも水があまり切れなかったというのは、ただ、40 トンの最近できたタンクが空になったという報告は受けているが、従来からある分については水は何とか足りていた状態だ。表には出ない問題なので、答えさせてもらった。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） お年寄りが絡んだ火事が最近続けてあっていると私は見ているが、小

値賀のように高齢化が進んで、一人暮らしもしくは隠居に住んでいるじいちゃんばあちゃんとか、火の扱い方について、特に冬場などかなり危険な時があるのではないかと見ているが、そういった防火に対する予備知識、啓蒙といったのは消防関係の予算じゃなくて総務になるのか。もし消防関係であればここで望みたいが、やはり高齢化が進んでいる特殊な島の小値賀町の火事に対する啓蒙を少しやらないといけないのではと感じた。特に斑などは高齢者の一人暮らしが結構いる。そういう意味で、今のところ人が亡くなったということはあっていないが、そういう危険なものを感じたので、その辺いかがか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 新聞やテレビのニュースでも火事の場合に大抵亡くなっているのは高齢の方で、火元も高齢者ということで、それは佐世保署管内の話聞いた時でも、それが一番課題になっているということは伺っている。担当とも新年度以降の、高齢化に対応した防火意識の部分をどうしようかという話はしたこともあり、消防団とも話して、女性消防団員もいるし、過去に家を回ったりしたこともあるので、分団長会議等でも議題にしていって、そういった活動を強化していきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第11款・公債費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第12款・諸支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・予備費

宮崎委員

委員（宮崎良保） 予備費について確認をしておく。1ページの5番、歳出予算の流用については、過不足を生じた場合には同一款内でこれを流用するというような感じだが、この予備費の流用については、要綱等はないのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 突発的で緊急的なものが、基本的には予備費を充当する要因になるが、どうしても国への前年度の清算による返還金が発生したとかいうときに予備費を使わせてもらうときと、あとはこの予算で謳っている同一項内で流用ができないような場合には、予備費から充当するしかないので、事務に支障がある場合は予備費から充当をさせてもらっている。運用的には、通常は流用で間に合えば同じ項・目の中で余裕があるところから流用したりしている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 分かった。確かに流用したいあれは分かるが、決算で聞いたときには予備費から流用するやつは3月31日の補助金関係が来ないときの補助として主にするという答えを聞いたような気がする。違うかもしれない。決算のときに流用をずっと見ていくと、どういう関係で予備費から流用しているのか、同一項内で流用しているのか分かりに

くかったので、できれば今度、決算のときにその辺の理由付けをしていただきたいと思います。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 基本的には、私が財政担当とすれば、流用が一番早いやり方で、流用はしょうがないだろうと思っている。ただ流用ができない状況、かなりキツキツで予算を組んでいて 1,000 円も余裕がないところもあるので、そういう場合には予備費から回すしかないということで、まず流用の可能性を探って、できないときは予備費を充当という格好をとらせてもらっている。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 本日の質疑はこれまでとする。

本日はこれにて散会する。

— 午 後 2 時 18 分 散 会 —